

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	昭島ドリーム保育園
施設所在地	昭島市
法人名	一般社団ドリーム

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

園の特色として4月より『リトミック』を行っている。
音楽に合わせて動く経験をし、思い通りに身体を動かす楽しさを味わい、色々な動きに挑戦したり、音楽を聞き身体を使って自分の思いを表現している。
その経験から、音への興味関心を広げ、音を楽しんだり、音を聞いて自ら表現する喜びを味わう事を目的とした。

2. 活動スケジュール

令和7年9月～令和8年3月まで 概ね月1回活動している。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・準備するもの ピアノ、餅つきの絵本

- ① ☒ トミックでの活動を活かして子どもが自由に表現できるよう様々な効果音を弾く。
- ② ☒ 分の話をして豆まきの歌を歌う。
- ③ ☒ つきの絵本を見ることで、餅つきの表現遊びのイメージを膨らませ触れ合い遊びを行う。
- ④ ☒ に耳を傾けルールのある遊びを楽しむ。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ◎既存の曲ではなくピアノでの効果音を聴き、子どもが自由に身体を動かす。
- ◎餅つきの絵本を読み想像力を膨らませる。
- ◎まめまきの歌や餅つきの触れ合い遊びを用意し季節感に触れる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・高い音は（猫やネズミ）低い音は（怪獣）等想像力を膨らませていた。
- ・もちつきの絵本を見たことで、触れ合い遊びから発展し子どもから「餅を作ろう」「みんなで力を合わせよう」「あんこを入れよう」等様々な声が上がっていた
- ・ストップゲームをすると以前行った椅子取りゲームを思い浮かべる子がいた。その後椅子取りゲームへと発展した。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ◎子どもの想像力が膨らむような音や問い掛けをし、決められた動きではなく自分で考え自由表現していた。
- ◎保育士の話や絵本を見て触れ合い遊びを行うことで、餅つきのイメージを膨らませる事が出来た。
- ◎ストップゲームから違う遊びを連想する子どももあり、遊びが広がった。
- ◎同じ音でも子どもによって創造するものや表現の仕方が違った。
- ◎保育士の問い掛けに対し特定の子の発言だけではなく、みんなが自由に想像したものを拾い上げたことで表現の幅が広がった。